門司レトロ展望室

門司港レトロハイマートの31階までエレベーターで上がると、眼下270度には絶え間ない海上活動を繰り広げる門司港と関門海峡の素晴らしい光景が広がる。最大100倍まで拡大可能な強力なデジタル望遠鏡を使えば、伝説の剣豪、宮本武蔵（?～1645）が地元の剣の達人、佐々木小次郎（生没年不明）と有名な決闘をした巌流島など、海峡の対岸のランドマークを見つけることができる。

日没直前、展望室の明かりは優しいオレンジ色に落とされ、街はリズムがゆっくりになり、波が港の壁に打ち寄せ、ゆったりした空気に包まれる。"日本夜景遺産 "に認定された夜景は必見である。同じく最上階にあるカフェは、早めの晩酌やロマンチックなデートにぴったりの人気スポットである。

門司港レトロハイマートは高さ103メートルで門司港にそびえ立っている。ガラス張りの超高層住宅は1999年に竣工された。このビルは、東京の中銀カプセルタワービル（1972年竣工）で一躍有名になり、建築界にメタボリズム建築運動の基礎を築いた建築家、黒川紀章（1934-2007）が設計した。